

研究課題名	Child-Pugh 分類 B 肝細胞癌に対する肝切除後合併症および予後予測モデルの検証
研究の意義・目的	肝臓癌に対する肝切除において、肝臓の機能の評価は重要です。肝臓の予備力（機能）を評価する指標として Child-Pugh 分類があり、Child-Pugh 分類 A が最も肝予備能が良好で、C が最も不良です。A に対しては肝切除、C に対しては肝移植が選択肢の一つとなるという指針がありますが、B に対する肝切除の適応について十分な治療指針が確立しておらず、2020 年に国際共同研究で提唱された Child-Pugh 分類 B 肝細胞癌肝切除後合併症および予後の予測モデルの外部検証を関西 9 大学の多施設共同研究で行います。その結果、予測モデルが有用であることが証明されれば、Child-Pugh 分類 B の患者さんに対して肝切除が有用な治療法か判断できる指標になります。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2022 年 11 月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2017 年 6 月～2019 年 12 月に大阪市立大学医学部附属病院の肝胆膵外科で、肝臓癌に対して肝切除を受けられた、Child-Pugh 分類 B の方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 年齢、性別、身長、体重、併存疾患、背景肝疾患、肝硬変の有無、手術直前の血液検査、腹水の有無、脳症の有無、食道静脈瘤の有無、門脈圧亢進症の有無、手術記録、麻酔記録、病理所見、術後 90 日以内合併症の有無、在院死の有無、90 日以内死亡の有無、退院日、癌再発の有無、再発部位、再発時治療、経過中肝移植の有無、生存の有無（確認日）
試料・情報の他機関への提供	当科と下記の共同研究機関から情報の提供を受けて研究を実施します。 大阪医科大学 一般消化器外科、関西医科大学 肝臓外科、大阪大学 消化器外科、滋賀医科大学 消化器・乳腺・一般外科、奈良県立医科大学 消化器・総合外科、和歌山県立医科大学 第 2 外科、京都府立医科大学 消化器外科、近畿大学 肝胆膵外科
この研究を行っている共同研究機関	大阪医科大学 一般消化器外科 氏名：米田浩二 関西医科大学 肝臓外科 氏名：小坂 久 大阪大学 消化器外科 氏名：野田剛広 滋賀医科大学 消化器・乳腺・一般外科 氏名：飯田洋也 奈良県立医科大学 消化器・総合外科 氏名：北東大督 和歌山県立医科大学 第 2 外科 氏名：上野昌樹 京都府立医科大学 消化器外科 氏名：生駒久視 近畿大学 肝胆膵外科 氏名：松本正孝
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 研究責任者 田中肖吾
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 (担当者氏名) 田中 肖吾

電話番号：(06) 6645-3841

メールアドレス：m8827074@msic.med.osaka-cu.ac.jp

(メールの場合は「件名」に「Child B 研究」とお書きください)